

2009 年度（平成 21 年度） 苫小牧市温室効果ガス排出量

平成 24 年 9 月 3 日
苫小牧市環境衛生部

1 温室効果ガス排出量について

市内温室効果ガス排出量（CO₂換算）は 2,258 千トンとなり、基準年比 9.2%の減少となりました。

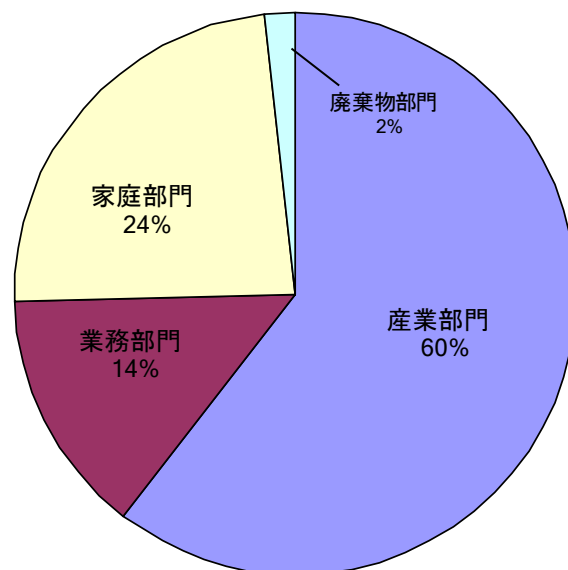
部門別では、産業部門で基準年比 22.8%の減、業務部門で 13.8%の増、家庭部門で 30.9%の増、廃棄物部門で 40.1%の増となりました。

減少の要因としては、金融危機の影響による産業活動の後退が考えられます。また、増加の要因としては、業務系建物床面積の増加、核家族化による世帯数の増加、プラスチック類の焼却量の増加などが考えられます。

（単位：千トン）

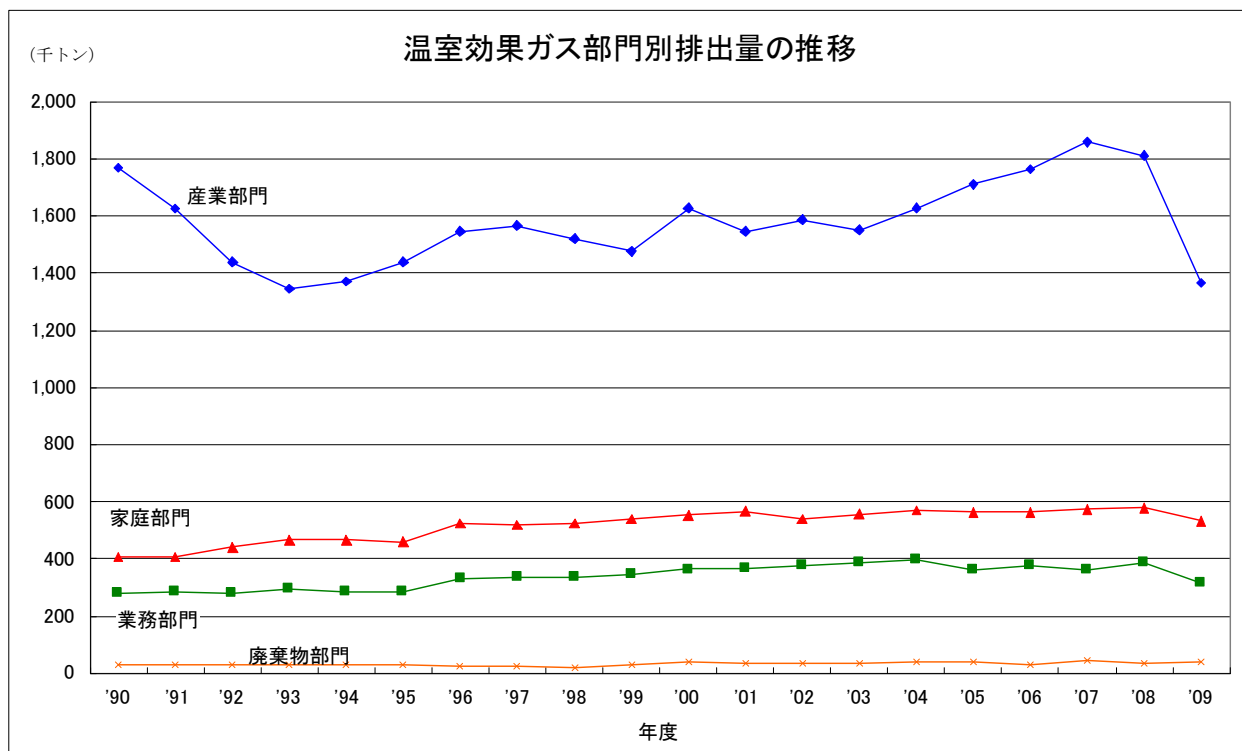
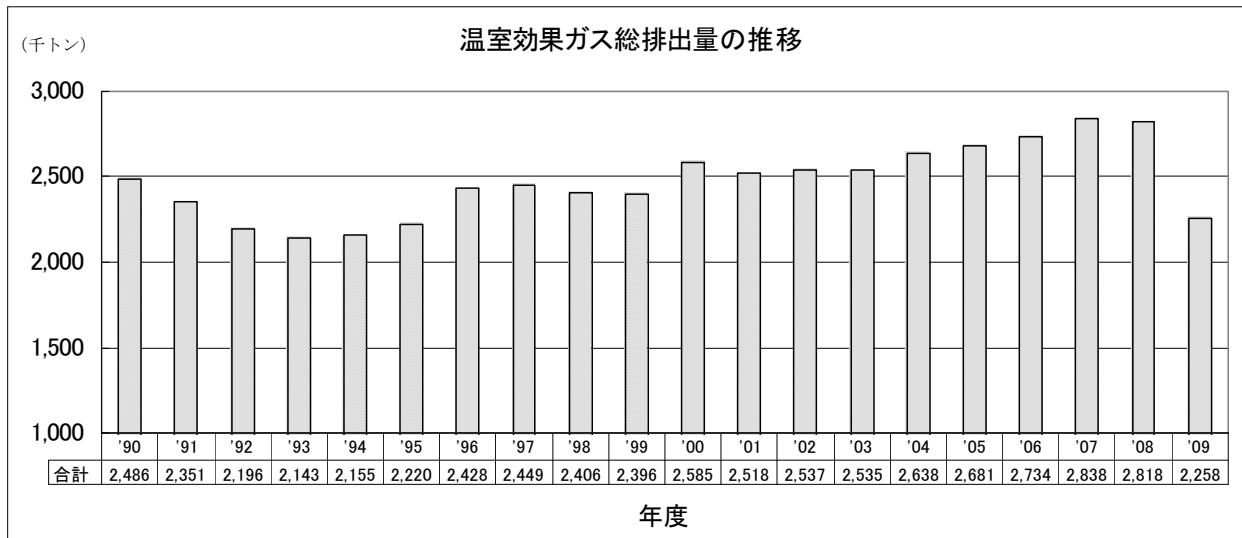
	1990 年度 (基準値)	2008 年度	2009 年度	2009 年度	
				基準年比	前年比
合 計	2,486	2,818	2,258	-9.2%	-20.1%
産 業 部 門	1,770	1,812	1,366	-22.8%	-24.6%
業 務 部 門	280	389	318	+13.8%	-18.2%
家 庭 部 門	407	579	533	+30.9%	-8.0%
廃 棄 物 部 門	29	38	41	+40.1%	+7.8%

部門別の割合（2009 年度）



2 経年変化について

1990年度から2009年度までの経年変化は次のグラフのとおりです。



3 部門別目標の進捗状況

	目標(2017年度)	2009年度
産業部門	総排出量 -15.0%	-22.8%
業務部門	床面積1㎡当たり排出量 -12.0%	-28.9%
家庭部門	1世帯当たり排出量 -7.0%	-2.7%
廃棄物部門	1世帯当たり排出量 -15.0%	+4.1%